

# 2023年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2年探究C・グローバルスタディ

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な社会的課題とそれに取り組む団体・組織に関する知識を身に付ける</li> <li>・国際的な社会的課題を考察できるように調査研究方法と語学力を高める</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題に対する自らの関心に気づく・問題を自分事にする</li> <li>・多角的に国際的な社会問題を考察できるよう、批判的思考能力を高める</li> <li>・学びの成果を社会に向けて発表する</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何」を「なぜ」探究したいのかを追求し、それをすることがどのように社会に貢献するのかを考える</li> <li>・世界にある多様な価値観を尊重する</li> <li>・直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶことができる</li> <li>・先人の歩み、先行研究から学ぶ、謙虚な姿勢を養い、知の集積を目指す</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国際的な社会的課題やそれに取り組む組織について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>②調査・研究を行うための基本的リサーチメソッドを理解し、教員の補助の元それらを運用することができる</li> <li>③海外の高校生と英語を用いて国際的な社会的課題について意見交換、質問、議論することができる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会的課題について多角的・批判的な視点から捉える事を通して、自分の価値観を検証することができる</li> <li>②国際的な社会的課題の解決方法について仮説を立て、調査を行い、検証することができる</li> <li>③当該課題に向き合う中で、自分の取り組みや探究の成果について他者に発表することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①世界の中に多様な価値観があることを受容し、自分がそれらにどう関わって生きていくのかを方向づけることができる</li> <li>②世界の中の日本の位置づけを意識しながら、これまでに解決が困難だと考えられてきた国際的な社会的課題について自分が参画、貢献しようとする姿勢を持つことができる</li> </ol>	

授業日	4/18(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KGH における探究型学習の在り方、狙いを理解する（全体コーディネーターより）</li> <li>・ Global Studies の在り方、狙いを理解する（コース担当者より）</li> <li>・ 受講者の興味関心を共有し、研究方向のビジョンを考える</li> <li>・ Reading Group Discussion ファシリテーターの担当と順番を決める</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	全体コーディネーターより KGH における探究型学習の説明とオリエンテーション	
	6 限	グローバルスタディーズのコース説明、アイスブレイク、性格診断と興味のある社会課題の共有、Reading Group Discussion ファシリテーターの担当と順番決め	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心のある Global issues に関するロイロカードの提出</li> <li>・ Reading Group Discussion 内容・当番表の作成</li> </ul>		
宿題指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバスを熟読しておくこと</li> <li>・ 来週以降の英語課題の内容を理解しておくこと</li> <li>・ 来週の Reading Group Discussion 担当者は、課題図書を読み、発表の準備をしてくること</li> </ul>		

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「世界における社会問題」を認識し、それについて自分の考えを表明し、他者と議論をする</li> <li>・ CNN を使った英語学習の方法を学び、それを活用し、課題のやり方を学ぶ</li> <li>・ このコースでの 1 年半の Research Design を行う</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Reading Group Discussion 1（プレゼン、質疑応答、振り返り）</li> <li>↑ 3 つの英文による記事・論文をまとめた発表</li> <li>・ CNN English News を使った毎週の英語学習の方法とその練習</li> </ul>	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究手法と我々が目指すところについてのベクトル合わせ</li> <li>・ Research Design Session 1（General→Specific）</li> <li>↑ 個人でのワークからグループでの共有、アイデアだし、建設的批判的議論</li> </ul>	
評価方法	発表者（発表スライド、発表資料、発表そのもの）、聴衆（Worksheet Reflection Sheet 1）、全員（Research Design 1 Worksheet）		
宿題指示	CNN English News Practice, 上記 2 種の worksheet の（部分的）完成、翌週の発表者の準備		

授業日	5/9(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国際連合：その憲章と機構」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・ 「国際的な平和と安全」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・ Teams の効果的な使用法を理解し、使いこなせるようになる</li> <li>・ CNN ニュースを使用し、英語の発話活動を行い、発音、発話時間、内容、流暢さの評価を行う</li> <li>・ 前回の授業、その後の課題によって深掘りされた研究調査の焦点を元に、共有の興味を持つ生徒同士が今後</li> </ul>		

	<p>のリサーチのためにグルーピングを完成させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間テスト以降にお迎えするゲストスピーカーについての情報と、その情報に対する反応をまとめ、当日の質疑応答に対するワークシートを完成させる</li> </ul>	
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Reading Group Discussion 2 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際連合：その憲章と機構」をテーマにした発表とディスカッション</li> <li>・ Reading Group Discussion 3 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際平和と安全」をテーマにした発表とディスカッション</li> </ul> <p>教員からのフィードバック内容確認 Teams の使用法の確認</p>
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CNN English News 「Refugee Tally Exceeds 100 Million」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・ これまでの研究に対する興味をまとめたシートを提示し、今後 2 年間の共同リサーチ班を決める活動</li> <li>・ 次回の特別講演者の方の Bio や受賞された賞を調べる。彼女の主張や行動より、賛同できるポイント、疑問に思うポイントを確認し、来ていただいた際に有意義なやり取りができるための準備のワークシートに取り組む。</li> </ul>
評価方法	<p>発表者 (発表スライド、発表資料、発表そのもの)、聴衆 (Worksheet Reflection Sheet 2 &amp; 3), 全員 CNN English News Test 1: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)</p>	
宿題指示	<p>次回の特別講演者に関する WorkSheet を 5 月 21 日までに提出する Reflection Sheet 2&amp; 3 が終わっていない人は次週までに完成し、提出する</p>	

授業日	5/23(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	<p>主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②</p> <p>本時の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川崎レナさんとその働きを知る</li> <li>・ 自分達の探究活動と川崎レナさんの活動や、その成果との関連性、発展性を考察する</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	川崎レナさん講演	
	6 限	ワークショップ	
評価方法	川崎レナさんに関するワークシート		
宿題指示	<p>川崎レナさんのワークシートを完了させる CNN English News Practice 2 国連大学ツアー 2 日目の訪問先予備調査シート 翌週発表者は準備 Reflection Sheet 4 &amp; 5 が終わっていない人は次週までに完成し、提出する</p>		

授業日	5/30(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	<p>主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②</p> <p>本時の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国際連合：経済社会開発 1」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・ 「国際連合：経済社会開発 2」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CNN ニュースを使用し、英語の発話活動を行い、発音、発話時間、内容、流暢さの評価を行う</li> <li>・リサーチグループに分かれ、国連大学ツアーの2日目に行う調査計画・内容を深める</li> </ul>	
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Reading Group Discussion 4 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際連合：経済社会開発 1」をテーマにした発表とディスカッション</li> <li>・ Reading Group Discussion 5 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際連合：経済社会開発 2」をテーマにした発表とディスカッション</li> </ul> 教員からのフィードバック内容確認 Teams の使用法の確認
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CNN English News 「India surpassing China in population」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査</li> </ul>
評価方法	発表者(発表スライド、発表資料、発表そのもの)、聴衆(Worksheet Reflection Sheet 4 & 5)、全員 CNN English News Test 2: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives) 国連大学ツアー2日目の訪問先調査シート	
宿題指示	翌週発表者は準備 Reflection Sheet 4 & 5 が終わっていない人は次週までに完成し、提出する 国連大学ツアー2日目の方先調査シート完成 CNN English News Test 3	

授業日	6/6(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際連合：人権」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・「国際連合：人道支援・国際法」を理解し、それについて自分の考えを表明し、他者と意見を共有する</li> <li>・CNN ニュースを使用し、英語の発話活動を行い、発音、発話時間、内容、流暢さの評価を行う</li> <li>・翌週の村田俊一教授の基調講演に向けて事前準備を行う</li> <li>・リサーチグループに分かれ、国連大学ツアーの2日目に行う調査計画・内容を深める</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Reading Group Discussion 6 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際連合：人権」をテーマにした発表とディスカッション</li> <li>・ Reading Group Discussion 5 (プレゼン、質疑応答、振り返り)</li> <li>↑「国際連合：人道支援・国際法」をテーマにした発表とディスカッション</li> </ul> 教員からのフィードバック内容確認 Teams の使用法の確認	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CNN English News 「Rare-Earth Elements Found in Sweden」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・関西学院大学 村田俊一教授の紹介動画を見て、若者へのメッセージを受け取る。村田先生からの課題図書について説明。質問項目を考える。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査</li> <li>・リサーチグループに対して、研究焦点の細分化の議論とフィードバック</li> </ul>
評価方法	発表者（発表スライド、発表資料、発表そのもの）、聴衆（Worksheet Reflection Sheet 6 & 7）、全員 CNN English News Test 3: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)
宿題指示	Reflection Sheet 6 & 7が終わっていない人は次週までに完成し、提出する 国連大学ツアー2日目の調査シート完成・Teamsで提出（詳細を含め） CNN English News Test 4 村田俊一教授からの課題文献2つを読み、質疑応答用の質問を考えてくる グループリサーチのための参考文献を読み進める

授業日	6/15(木)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・村田先生の講演を拝聴し「日常生活から学ぶ国際協力の重要性」に気づき、それを我が事と捉え、実践に移すイメージを持ち、その計画を立てる。</li> <li>・村田先生の講演から自分たちの研究を発展させるヒントを見つけ出す。</li> <li>・CNN を使った英語学習を通し、自然な英語のリズム、イントネーション、スピードで話す。</li> <li>・国連大学ツアー2日目の訪問先のメールを完成させ、送信する。</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）事務局次長 /元国連開発計画（UNDP）駐日代表/ 関西学院大学 特別任期制教授/ 国際機関人事センター長</li> <li>村田俊一教授特別授業「私たちは国境を越える：日常生活から学ぶ国際協力の重要性」</li> <li>質疑応答</li> </ul>	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CNN English News 「World's First "Parastronaut"」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査</li> </ul>	
評価方法	村田俊一教授特別授業 Reflection Sheet CNN English News Test 4: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)		
宿題指示	Reflection Sheet が完成していないものは自習までに CNN English News Test 5 国連大学ツアー2日目のアポイントメールの確定版を担当者と共有、修正し、自習までに配信・アポ取り。		

授業日	6/20(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連大学ツアー1日目・2日目の活動内容を確定する。</li> <li>・国連大学ツアー2日目に行う、インタビュー内容を確定する。</li> <li>・CNN を使った英語学習の方法を学び、それを活用することができる。</li> </ul>		

	・国連大学ツアー2日目の訪問先のメールを完成させ、送信する。	
時間 授業内容	5 限       6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CNN English News 「WWF Reports Shocking Population Loss」 を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・ 国連大学ツアー2日目の依頼文完成・チェック・送信</li> <li>・ リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査・ワークシート</li> </ul>
評価方法	CNN English News Test 5: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives) 国連大学ツアー2日目の依頼文の完成と送信 国連大学ツアー2日目の活動内容詳細ワークシート	
宿題指示	依頼文 (email) を遅れていないところは送っておく。 その他返信があったところは迅速に対応をする。 CNN English News Test 6	

授業日	6/27(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲストスピーカーからバングラディッシュとその教育について理解する。</li> <li>・ 国連大学ツアー2日目に行く、インタビュー内容を確定する。</li> <li>・ CNN を使った英語学習の方法を学び、それを活用することができる。</li> <li>・ 1 学期の内容を振り返り、Activity Record シートを作成する。</li> <li>・ 夏休みの課題内容を理解する。</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限       6 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バングラディッシュからのゲストスピーカー・ナボニーさんの話を聞き、バングラディッシュ、英語学習について学ぶ。</li> <li>・ CNN English News 「Ancient City Emerges from Dam」 を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。</li> <li>・ Activity Record Sheet を用い、これまでの活動のまとめを行う。</li> <li>・ リサーチグループに分かれ、夏季休暇中の国連大学ツアー2日目のフィールドスタディー先に関する調査、もしくは各グループの研究について計画を練る。</li> <li>・ 2 学期の予定を確認し、夏休みの課題図書について説明を受ける</li> </ul>	
評価方法	CNN English News Test 6: Timed Recording based on 3 criteria (Accuracy, Fluency, Phonological perspectives)		
宿題指示	二学期は：世界の中の日本・日本人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休み課題図書「菊と刀」、「武士道」 解題 (annotated bibliography)</li> <li>・ 夏休みの調査報告 (グループ) プレゼン (PPS) &amp; 提出用レポート (A4 1 枚)</li> <li>・ リサーチデザインシート (2)</li> </ul>		

授業日	9/5(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・夏期休暇中の調査訪問について発表をする。 ・アクティビティシートをアップデートする。 ・Research Design Sheet 2-2 を完成させる。 ・翌週からの発表者を決め、発表内容について学ぶ。		
時間 授業内容	5 限	夏期休暇中に行なった、国連大学・並びにリサーチに関する施設団体訪問に関する発表。 10 分程度の P P S を作成し、発表し、質疑応答を行う。 アクティビティシートのアップデートを促す。	
	6 限	引き続き発表。 来週以降の夏期休暇中課題図書の問題発表の役割、順番決め	
評価方法	夏期休暇中の訪問先レポート 1 日目、2 日目。本日のプレゼンテーションの内容。		
宿題指示	夏期休暇中の課題図書の発表準備 (PPS5 枚で 5 分程度の発表と 5 分程度の質疑応答)		

授業日	9/12(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・夏期課題図書「武士道」と「菊と刀」についてグループ発表をする。 ・自分の発表だけでなく、他者の発表からをしっかり聞き、学びのノートをとり、理解と考察を深める。 ・グループのリサーチプロジェクトの進展を確認する。		
時間 授業内容	5 限	夏期休暇中の課題図書「武士道」「菊と刀」に関する発表。 10 分程度の P P S を作成し、発表し、質疑応答を行う。発表者以外は学びの記録をとる。	
	6 限	引き続き発表。その後、グループに分かれ、リサーチプロジェクトの現在地確認と修正。	
評価方法	学びの記録 (全員)、Hurdle Task3 (課題図書の発表)		
宿題指示	CNN News 7 & 8		

授業日	9/26(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ Guest Speaker: Richard Derrah 先生から Japaneseness とは何かを学ぶ ・ Global Leader として活躍するための自分達の強み・弱みについて考察・議論をする。 ・ CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進 ・ グループのリサーチプロジェクトの進展		
時間 授業内容	5 限	特別講義: 「Who are Japanese?」	
	6 限	CNN English News 「Breakthrough in nuclear fusion」、「China limits gaming time」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。	
評価方法	学びの記録: 「デラ先生の講義より」、CNN News 7 & 8		
宿題指示	CNN news 9 「Transplant using pig's kidney」		

授業日	10/3(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Research Design Worksheet を用い、今後のリサーチのデザインをする</li> <li>・ CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進</li> <li>・ グループのリサーチプロジェクトの進展</li> <li>・ 2 学期中間以降のリーディング担当の箇所を決定し、準備をする</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	CNN news 9「Transplant using pig's kidney」を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。 期末テスト以降のリーディング担当・発表箇所を決める。	
	6 限	Independent/ Group study time. Research Design sheet 2-2/ マナボードを用いて今後のリサーチの具体化をする。	
評価方法	CNN News 9, Research Design sheet 2-2		
宿題指示	CNN10 [First US passport with "X" gender marker]		

授業日	10/17(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテストに出場する班の発表を聞き、それに基づきグループでディスカッションを行う</li> <li>・ ワークシートに基づき Research Design を進める</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	「食」に関する生徒によるプレゼンテーションを聞き、学びのノートをとる。事前に示された評価ポイント、審査員からの改善点をもとに建設的・批判的コメントを考え、発表者の発表内容を共に向上させる。	
	6 限	Independent/ Group study time. Research Design sheet3 を用いて今後のリサーチの具体化をする。	
評価方法	学びのノート、ディスカッション		
宿題指示	Research Design 3 を完成させる。CNN News 10 [First US passport with "X" gender marker]		

授業日	10/24(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題図書を担当部分を読み、理解し、その要旨と考察をプレゼンテーションする。</li> <li>・ CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進</li> <li>・ グループのリサーチプロジェクトの進展</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	「世界で生きる力」担当箇所のプレゼンテーション	
	6 限	CNN News 10 [First US passport with "X" gender marker]を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。 Research Design Sheet 3 提出	

	Independent/ Group study time
評価方法	プレゼンテーション内容、資料、学びのノート、CNN 暗唱
宿題指示	CNN News 11 [Oceans continue to heat up]

授業日	11/14(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・課題図書を担当部分を読み、理解し、その要旨と考察をプレゼンテーションする。 ・CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進 ・グループのリサーチプロジェクトの進展		
時間 授業内容	5 限	「異文化理解力」担当箇所のプレゼンテーション	
	6 限	「異文化理解力」担当箇所のプレゼンテーション CNN News 11 [Oceans continue to heat up]を用いた暗誦テスト。音声認識機能を使った発音チェック。 Independent/ Group study time	
評価方法	プレゼンテーション内容、発表資料、学びのノート、CNN 暗唱		
宿題指示	CNN12 [Mount Everest Losing Ice Fast]		

授業日	11/21(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・Guest Speaker: 前田 瑞歩様から「挑戦と失敗から学び生きる楽しさとは」何かを学ぶ ・新しことに挑戦する意義やそこに至るプロセスなどについて考察・議論をする。 ・CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進 ・グループのリサーチプロジェクトの進展		
時間 授業内容	5 限	特別講義：「挑戦と失敗から学び生きる楽しさとは」	
	6 限	前田さんを交えてのQ&Aセッション CNN English News は時間の関係上実施できませんでした。	
評価方法	学びの記録:「前田瑞歩さんの講義より」		
宿題指示	CNN news 12 「Mount Everest Losing Ice Fast」		

授業日	11/28(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・課題図書を担当部分を読み、理解し、その要旨と考察をプレゼンテーションする。 ・CNN English Express を使用して英語のスピーチ Fluency の促進 ・3 学期の活動の確認と計画		
時間 授業内容	5 限	「異文化理解」プレゼンテーション CNN news 12 「Mount Everest Losing Ice Fast」 3 学期の活動内容の確認	

	6 限	Peer Teaching Session のプランニング Online 国際交流の計画
評価方法	学びの記録、CNN news 暗唱	
宿題指示	Peer Teaching Session の役割分担確定	

授業日	1/16(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ Online 国際交流を通して、自分のこと、日本のことを英語で説明する。 ・ Online 国際交流を通して、相手のことや国のことを英語で理解する。		
時間 授業内容	5 限	Online 国際交流の内容確認・zoom/iPad の操作確認 本日の目標設定とアシスタントとの打ち合わせ 台湾の生徒と Zoom meeting で会話/自己紹介/Presentation about Japan	
	6 限	Ice Breaking Games/Q&A Time 振り返り	
評価方法	Self Reflection Recording		
宿題指示	次回の Peer Teaching session の準備と Self Reflection Recording の提出 (ロイロ)		

授業日	1/23(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ 2月6日のピアティーチング会の準備進捗確認 ・ 来週1月30日に行われる2回目の国際交流の準備 ・ Research Proposal を理解し、アイデアと整える		
時間 授業内容	5 限	ピアティーチング会の準備を2班に分かれて行う。	
	6 限	第2回 Online 国際交流のために、それぞれの班に分かれてワークシートに取り組む。 Research Proposal の内容を理解し、その準備のためのシートを理解する。	
評価方法	授業中グループ活動での発言、行動、交渉、進行の視点で評価		
宿題指示	第2回 Online 国際交流ワークシート完成、RP に向けての各自準備、ピアティーチング準備		

授業日	1/30(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ Online 国際交流 (台湾) を通して、物の描写を英語でする。 ・ Online 国際交流を通して、自分 (達) の探究テーマの説明をする/相手の探究テーマを理解する。 ・ Online 国際交流を通して、相手の文化について事前に準備した Interview をし、やり取りをする。		
時間 授業内容	5 限	Online 国際交流の内容確認・zoom/iPad の操作確認 本日の目標設定とアシスタントとの打ち合わせ 台湾の生徒と Zoom meeting で会話/自己紹介、その後「Draw What I say」	
	6 限	Presentation Time 探究テーマについて準備したプレゼンテーション (お互いに) 事前に準備をした相手の文化に特有なことについてのインタビュー (お互いに) アシスタントとの振り返り	
評価方法	授業中の活動、プレゼンテーションの内容、Self Reflection Recording 2		
宿題指示	次回の Peer Teaching session の準備、Research Proposal 用のリーディング (各自) と Self Reflection Recording2 の提出 (ロイロ)		

授業日	2/6(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・来週に行われるピアティーチングの準備を完成させる ・時間内に発表が行えるようにリハーサルを行う。		
時間 授業内容	5 限	各班、各パートに分かれて、ピアティーチングで使用する資料をまとめ、担当者に提出する。	
	6 限	20 分の発表時間に合わせて、リハーサルを行い、お互いで改善点を話し合う。	
評価方法	特に評価の対象になる活動はなし		
宿題指示	発表前日までに、発表に必要なデータを担当者に送信する。		

授業日	2/15(木)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・ Peer Teaching Session の成功 自分達のこれまでの学びを言語化し、聴衆に伝える 他者から学び、知的好奇心の感度を高める		
時間 授業内容	5 限	GS1 班、GS2 班に分かれ、同質の発表を他の探究受講者に対して行う。20 分の制限時間の中で、1 年間の GS での学びをまとめ、発表する。	
	6 限	アート、ピーススタディ、AI、サイエンスの発表を聞き、批判的精神を持って、さまざまな振り返りを行う。	
評価方法	発表資料、発表方法		
宿題指示	Peer Teaching Reflection Sheet の完成		

授業日	2/20(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・ Research Proposal の骨子を作成する ・ Peer Teaching の振り返り		
時間 授業内容	5 限	Activity Record を用いて、これまでの活動の記録をとる 今後(春休み課題、3 年生)の予定の確認	
	6 限	Research Proposal に書くべき内容の確認。その後、各グループに分かれ、役割分担、春休みまでの計画予定等のグループワーク	
評価方法	Peer Teaching Sheet		
宿題指示	Research Proposal と 発表用 PPS (3 年の最初の授業)		